

～導入事例紹介～

- Case Studies -

exiida 遠隔監視・予兆診断

Remote Monitoring / Predictive Diagnostics

新規

分野 倉庫(米)

お客様名

JA全農にいがた様
新潟米広域集出荷施設 東港倉庫/新潟県

米の品質管理のさらなる向上のため、 既設の空調設備に「exiida 遠隔監視・予兆診断」を導入。

全国農業協同組合連合会新潟県本部(以下、略称「JA全農にいがた」)様では、県内の米保管場所を補完するため、2017年7月に「新潟米広域集出荷施設 東港倉庫」を竣工。施設内に10室ある倉庫には、穀物の保管に適した設備用パッケージエアコン「産業用中温型」などに併せて空調管理システム「セントラルステーション適温適所EZ」(以下、適温適所EZ)をご採用いただきました。2021年5月、米の保管状況を24時間365日、より厳密に管理するために「exiida 遠隔監視・予兆診断」を追加導入。新潟米の高い品質を守るため、空調設備の予防保全も含めた安定稼働をサポートしています。



*取材・撮影/2023年5月

提案・施工のポイント

POINT 1

5分間隔で更新される
運転データを閲覧・共有でき
保管温度の安定化に貢献

POINT 2

故障発生時の
迅速対応はもとより
予防保全も提案

POINT 3

既設の空調設備で
集中管理されている場合は
設置工事がスムーズ

特約店担当者の声



株式会社新潟日立
サービスエンジニアリング本部
新潟SE部部长
古川昇様

空調設備の保守を重視する 施主様にアプローチ。

日頃から「exiida 遠隔監視・予兆診断」のメリットをアピールしていた販売店様のご紹介で、ご提案の機会を得られました。JA全農にいがた様はもとも空調設備の保守の重要性をご理解されており、試運転の段階から保守契約のご要望があったそうです。そのため、24時間365日、5分ごとに更新される運転データを閲覧でき、販売店様や当社とも情報共有ができる「exiida 遠隔監視・予兆診断」はすぐに採用を決めていただけました。

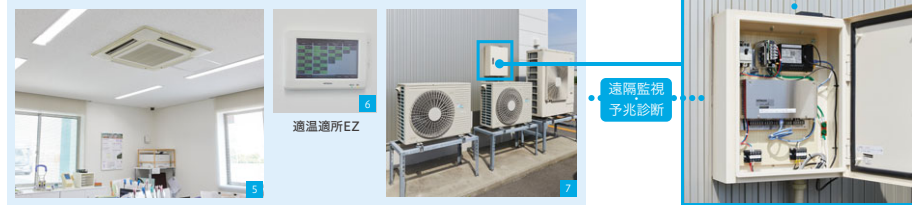
情報共有による迅速対応、 米の品質アピールにも結び付く。

ご提案の際は、運転データの情報共有による迅速な対応はもちろん、故障につながる変化を事前に検出して予防保全ができること、そうした厳密な運転管理による米の保管は、品質への信頼度を高められる点などもご説明しました。据置タイプの「exiida 遠隔監視通信ユニット」の設置は、空調設備が「適温適所EZ」で集中管理されていたため半日で手際良く完了できました。

倉庫



事務室



1,2 倉庫内全体に冷風が行き渡るよう、1室あたり8台の「てんつり」を配置。米の保管に適した設定温度12~14℃に保たれるよう運転している。3 「てんつり」の下カバーを外して保守点検の作業をしている様子。4 設備用パッケージエアコン「産業用中温型」は、1室ごとに室外ユニット4台を設置。海までの距離が1km以内であることから「耐塩害仕様」を採用されている。また高調波対応の「アクティブフィルター」を搭載した室外ユニットが多数設置されている。5 事務室には「てんかせ4方向」を採用。6 「産業用中温型」の運転状況が一目で表示・管理ができる「セントラルステーション適温適所EZ」が設置されている。7 事務室の西側には、「耐塩害仕様」の店舗・オフィス用パッケージエアコン「省エネの達人」と、通信ユニット1台で同一H-LINKに接続された空調機器を監視する据置タイプの「exiida 遠隔監視通信ユニット」が設置されている。

遠隔監視・予兆診断

遠隔監視
予兆診断

exiida遠隔監視通信ユニット